

学校長様
生物科様

大阪府高等学校生物教育研究会
会長 柴原 信彦

令和3年度(第50回)会員研究発表会開催について(依頼及び案内)

貴校ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。平素は本研究会の活動に格別のご配慮をいただき、誠にありがとうございます。

標記の発表会を下記の通り開催いたします。校務ご多忙のことと存じますが、生物科等の教職員の出席について、ご配慮下さいますようお願い申し上げます。

記

1. 日時 令和4年1月28日(金) 午後2時半～4時
2. 場所 大阪府立天王寺高等学校(〒545-0005 大阪市阿倍野区三好町2丁目4-23)
*交通: JR 阪和線 美章園駅 西 0.3km
近鉄南大阪線 河堀口(こぼれぐち)駅 南西 0.4km
地下鉄谷町線 文の里駅 北 0.7km
JR 環状線 寺田町駅 南 0.8km

3. 発表テーマ

- (1) 学術論文を参考にした考査問題作成および生徒への効果の検討 河井 昇(府立天王寺高校)
生物学への興味関心のさらなる醸成、学習意欲の向上をめざし、最新の論文を利用した考査問題の作成方法およびその効果を検証した。
※当日は修学旅行引率のため、事前に録画した youtube 限定公開動画をご覧ください。形になります。
- (2) フタホシコオロギの安定養殖に至る記録と将来計画 青木 朋哉*・竹内 準一(ルネサンス大阪高校)
ペット(爬虫類・両生類)餌用フタホシコオロギの野菜クズによる養殖を、数年間試みてきた結果、紆余曲折の末、一定のノウハウが得られ、安定的に繁殖ができるようになってきた。今後、ミミズの養殖などと組み合わせ、野菜クズなど広義でのフードロスを削減する方策として提案したい。なお、フタホシコオロギは、食細胞を観察する実験動物としても利用価値がある。
- (3) Google Workspace等を活用した校内の植生調査 小瀧 允(府立大冠高校)
府立高校に一人一台端末が配布されたことを受け、少人数展開クラスで Chromebook などを活用した校内植生調査とそのまとめを行った。使用したツールとそれらの使用感、生徒のようすについて紹介する。
- (4) 教科書内容が終わった。では、その後どうしようか? 岡本 元達(教育大附属高校池田校舎)
アクティブラーニングが話題となった際に High Tech High という学校取材した Most Likely to Succeed という教育ドキュメンタリー映画も話題となった。High Tech High では決まった教科書はなくどのような授業をするか教員の裁量に任されている。3年生の早い段階で教科書内容を終え、教科書から開放された後の授業をどうしていけばよいのかについて大阪の先生と議論のしていっかけを作りたい。
- (5) 遺伝カウンセラーとともに「ヒトの遺伝」教育を考える 片山 徹(上宮高校(非常勤), 府立寝屋川高校定時制(非常勤))
新型出生前診断をはじめ、「ヒトの遺伝」の基礎的な内容について正しく理解することは、生徒の今後の将来の生活において必須と考えられるが、教科書などでの扱いは限定的で、また十分に理解され身についても思えない。このような現状について、問題意識を共有している遺伝カウンセラーの人たちとともに、今後の教育について検討した。

〈この件連絡先〉

大阪府高等学校生物教育研究会 行事係
〒595-0012 泉大津市北豊中町1-1-1
大阪府立泉大津高等学校
生物科 濱野 彩
TEL: 0725-32-2876 FAX: 0725-32-6394
E-mail: T-HamanoA@medu.pref.osaka.jp